



# 甲賀の自然

～身近な甲賀の自然から、興味深い話題を紹介します～

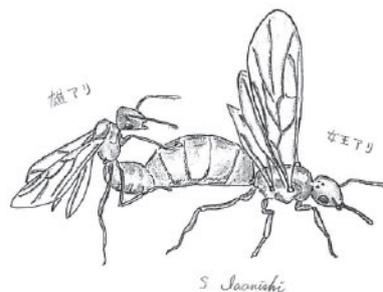
## 第6回 雄アリはどこに？

私たちの周りにはたくさんの虫がすんでいます。が、「アリ」ほどいつでもどこでも見つけれられる虫は多くはないでしょう。アリは日本で約270種、甲賀地域だけでも40種類以上が確認されており、森、草原、川原、街中の歩道等、あらゆる場所で黙々とエサを探して歩いています。

ところで、みなさんは「雄」のアリを見た事がありますか？アリの巣には、普通、女王アリと働きアリがすんでいます。これらは全て「雌」です。では雄アリはどこに？

初夏からちょうど今の時期、雨上がりの夕方に、たくさんの羽アリが街灯や窓の明かりに群がっているのを見た事ありませんか？よく見ると大きなアリと小さなアリが混ざっています。実はこれ、交尾のために生まれ、巣を飛び出してきた若い女王アリと雄アリです。若い女王アリは、雄アリと交尾した後、羽を落

として土にもぐり、新しい巣を作ります。一方、雄アリは交尾した後、すぐに死んでしまいます。アリの世界では、雄は、夏の短い期間、交尾のためだけに生まれるはかない存在なのです。



▲雄アリと女王アリ

問い合わせ **みなくち子どもの森自然館**

☎ 63-6712 ☎ 63-0466

9月の休園日

7日(月)、14日(月)、24日(木)、28日(月)

## 鳥獣害対策ニュース No.20

今回はイノシシ、シカ等の防護柵として利用される電気柵について紹介します。

### ●電気柵の機能と設置上の注意

電気柵は、電線に触れた野生獣に電気ショックを与えて撃退する柵です。効果的に実施するため、設置については次の点に注意が必要です

- ・支柱は4～5m間隔に立て、柵線を張る。
- ・ガイシ(電線と支柱をつなぐ絶縁体)は野生獣の侵入方向(農地に対して外側)に向けて取り付ける。
- ・柵線の高さや間隔は対象獣で異なる。

### 【イノシシ】

感電しやすい鼻先に当たりやすいように最上線を地面から15～20cmの高さに、その上に20～30cm間隔で1～2本電線を張り、最上線を60cm程度とする。

### 【シカ】

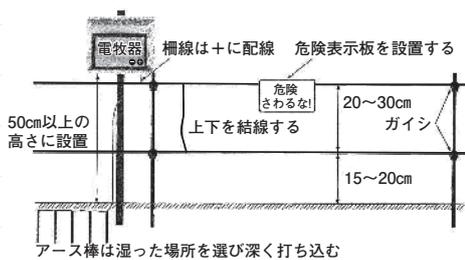
最下線を地面から25cm以下、最上線を120cm程度(シカの鼻先の高さ)とし、柵線を4段張り以上とする。(柵線の間隔は20～25cm)

### お願い

近くに電気柵が設置されている場合は、子どもが触れることのないように特に注意してください。

### 維持管理や改良のポイント

- ・漏電防止のため、除草はこまめに行う。
- ・くぼ地などでは地面と柵線との隙間を大きく開けないように、必要に応じて支柱やガイシの数を増やし、柵線を導く。



▲電気柵(電線型で2段)の正面図

アースは湿った場所を選び、土中になるべく深く埋める。またアース棒の間隔もできるだけ離す(1m程度)。乾燥した土壌はアース不良となるので注意する。

問い合わせ **農業振興課 鳥獣害対策係** ☎ 65-0734 ☎ 63-4592